

No.62

木枯しの二人

阿久悠——作詞
三木たかし——作曲
伊藤咲子——唄

N.C. Am

Am Bm7-5 E7

Am A7 Dm B7 E7 Am

もっと

Am A7 Dm G7 C Am Dm Am

つよく—だきしめてよ—うばわれないよう—にかたくかたく—おれるほ—どの—その

F7 E7 Am Am Dm Am Dm Am

てでだきしめて—いえをでたふたりをこがらしが
ふんすいもここえるこうえんの

B7 E7 Am Dm Am E7 Am G7

おいかけわかすぎのこいだとかなしみをあたえる—だれもみな
かたすみあのひとマントにくるまってるえる—もうすべて

C G7 C E7 Am Dm

そしらぬかおをしてゆきすぎあたたかいく—ちづけそれだけがたより
あなたにささげてもいいのとむねのおとききながらなみだぐむわたし

E7sus4 E7 Am Dm E7 Am

よ—はいろいろのそらのした—こなゆきをあひながらあい
よ—ゆきどけをまつよう—にゆるされぬはつこいをあい

Am Dm E7 Am Am

とあいでもすびあったあなたとわた—しもっとつよく—だきし
とあいでちかいあってそのひをまつ—のもっとつよく—だきし

Am A7 Dm G7 C Am Dm Am F7 E7

めてよ—うばわれないよう—にかたくかたく—おれるほ—どの—そのてでだきしめ
めてよ—うばわれないよう—にかたくかたく—おれるほ—どの—そのてでだきしめ

1. Am Dm E7 Am

て—

Am Dm E7 Am

2. Am

て

Am Am Dm E7 rit. -Am